



大島

— せいしょう君だより —



大島 —せいしょう君だより— 第4号の内容

新年・園長就任のご挨拶	2
国立病院総合医学会「ポスター発表を終えて」	3
平成 29 年度敬老祝会が開催されました	4
移動販売「サンサンマーケット」	4
大掃除を終えて	5
大島もちつき会	6
楽しい！美味しい！大島クリスマス会	7

国立療養所大島青松園の理念

私たちは、入所者の尊厳を守り、入所者の心情を理解し、入所者が安心して生活できる環境を提供します。

基本方針

1. 入所者の権利と人格を尊重します。
2. 信頼される医療・看護・介護をめざします。
3. 職員の教育・研修に努めます。
4. ハンセン病の啓発に努めます。

新年・園長就任のご挨拶

大島青松園園長 岡野 美子

新年、あけましておめでとうございます。

平成30年の新春を皆様と一緒に迎えることができた喜びを感謝いたします。

今年も皆様にとって良い一年となりますように祈念申し上げます。

昨年10月1日付で大島青松園の園長に就任いたしました。新年のご挨拶とともに就任のご挨拶もさせていただきます。副園長になってまだ1年半ですが、新盛前園長の急な退任を受けてバタバタと園長となり、はや3か月過ぎました。まだまだ新米園長ですが、私なりに誠心誠意全力で取り組み、未熟な部分は努力して成長していきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

この広報誌は昨年3月に発刊しましたが、今号で第4号になります。毎回いろいろ紹介したい園の行事がたくさんあって選ぶのに困りました。七夕、そうめん流し、夏祭り、お月見会、クリスマス会などの職員の企画力には驚かされます。入所者の皆様に楽しんでもらいたいという思いが伝わってきます。飾り付けもますます本格的になっているようで、今年はどんなイベントが企画されるか楽しみです。高齢になるとだんだん部屋にいたことが多くなり日常のお互いの交流が少なくなっていると思います。このような皆で集う場があるのはよいことですね。奮ってご参加ください。

昨年の11月に第71回国立病院総合医学会が高松で開催されました。当園からも9題の演題発表をしました。そのうち3題に座長賞をいただくという荣誉にあずかりました。当園が他職種で連携・協働して様々な活動していることが評価されたのだと思います。これは他の大きな医療施設ではなかなかできないことです。小さな施設であるからこそ全体を見渡すことができ、融通をきかせることができるのだと大島青松園の強みを感じました。これは一人の入所者にいろいろな人が関わるということでもあります。皆で協力してアイデアを出し合って入所者の皆様のよりよい生活を支援していきたいと思っております。

社会交流会館の建物が完成し宿泊設備も整いました。今後の全館オープンに向けて、展示室を準備しています。瀬戸内芸術祭の関係の方々などに協力していただければいいものができそうです。ここが新たな交流の場所となっていていろいろな活動が生まれるとよいのではないかと期待しています。楽しみにお待ちください。

これからも少しずつ環境の変化はあると思いますが、職員一同与えられた使命を自覚し、業務の研鑽を行い、皆様が穏やかに安心できる暮らしをおくれるよう一層の努力をまいります。今後も皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。



国立病院総合医学会 「ポスター発表を終えて」

第2-2センター 副看護師長 眞田 真紀

私は11月10日(金)にサンポートホール高松で行われた第71回国立病院総合医学会において、ポスターセッション医療安全で発表を行いました。今回は新しい試みとしてeポスターという70インチの大画面を用いての臨場感あふれるセッションとなりました。発表テーマは「職員間の情報共有の必要性—入所者への安心で安全な生活支援に向けて—」です。また、本学会のテーマは「道—明日へ—国立医療の未来を拓く」であり、私は自身の発表テーマを重ね合わせ、職員間すなわち多職種・他部署との情報共有により大島青松園の入所者にとっての道が拓け、看護・介護の未来に繋がるという解釈をし、自信を持って発表しようと心に誓いました。

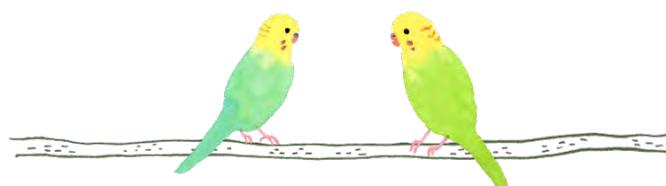


当園はハンセン病後遺症を持つ入所者が長期療養生活を送っており、後遺症に加え超高齢化がすすみ、不自由度は年々高まっています。それに伴い入所者への日常生活支援もより個別性が必要であり、きめの細かい情報伝達・共有が要求されます。しかし、職員間の入所者に関する情報共有のインシデント件数は年々増加している現状があります。その対策として平成28年度に医療安全推進担当者会で職員間の情報共有に関する研修会を全職員対象として5回に分けて行いました。その取り組みを今回の国立病院総合医学会で発表することができました。

入所者は超高齢化で刻々と状況が変化していくため、現在のタイムリーな入所者の情報を多職種が職種を越えて共有することで入所者の全体像の正しい理解に繋がります。そして、自分達が把握している情報を新しい内容に修正し、入所者への安心・安全な日常生活支援に繋げることが大切です。

部署における医療安全推進担当者及び副看護師長として今回の研修で得た職員間の情報共有の必要性を理解し、入所者の生活場面で実践できているのかを現場確認します。そして、できていない場合はタイムリーに指導・助言を行うことで入所者目線の安心・安全な日常生活支援に努めていきたいと考えます。

最後になりましたが学会発表に向けてご指導いただいた渡邊総看護師長、土居副総看護師長に心より御礼を申し上げます。本受賞を励みに、今後もより一層精進して大島青松園の入所者の安心・安全な日常生活支援に向けて取り組んでいきたいと思っております。ありがとうございました。



平成 29 年度敬老祝会が開催されました

第 2-2 センター 看護師長 香川 秀子

平成 29 年 9 月 15 日(金)、大島会館にて平成 29 年度敬老祝会が開催されました。新盛園長、野村自治会副会長より開催の挨拶のあと、高松市長からの祝辞を頂きました。祝辞の中で高松市内には、最高齢 110 歳の方を筆頭に 100 歳を超えるご長寿の方々が 300 名以上いらっしゃる聞き大変驚きました。当園には、100 歳を超える方はいらっしゃいませんが、5 名の方が今年米寿を迎えられたそうで大変おめでたいことと思います。高松市長より記念品贈呈のあと懇親会へと進みました。

懇親会では、うさぎのかわいいお饅頭を食べ、お酒をたしなむ方もいらっしゃる中、様々なお祝いの出し物が披露され、和やかな雰囲気が始まりました。まず始めは、高松市立庵治第二小学校の皆さんによるリコーダー、落語、歌の披露を楽しみました。落語「寿限無」では、師匠のもとで修業されたという通り「寿限無」の楽しい話に入所者の方々からも、時折笑いが出ていました。師匠の落語にも笑いを咲かせ、鶴のお祝いの品になぞかけもあり、あっという間の時間でした。「ふるさと」の 2 重合唱では、「ふるさと」の歌声とともに口ずさみ、思わず涙している方もいらっしゃいました。



香川大学教育学部のみなさんによる日本の四季の演奏では、フルートやクラリネット、ピアノの優しい音色に聞き入りました。和太鼓集団「満天」の皆さんによる太鼓の演奏では、太鼓の鳴り響く力強い音や演奏に感動し、笛の音色に秋を感じました。

これからも皆さまのご長寿とご健勝、幸せをお祈り申し上げ、今後も皆さまが安心して笑って生活ができるように努めていきたいと思っています。

移動販売「サンサンマーケット」

桜の内助六商店合同会社 吉田 美登子

「こんにちは。サンサンマーケット移動販売がおいしいものを沢山もって、やってまいりました。ぜひお立ち寄りくださいませ。」こんな声が、センター内に流れます。月に 2~3 回、大島青松園の売店が実施している移動販売です。入所者さんのお部屋の近くまで手作りのお惣菜、パン、旬の果物、お菓子などを台車に積んで回ります。自分が食べたいものを自分で選び、自分



で買い物をする。その喜びのお手伝いできればと1年半前から行っています。

食べるという営みは、単に栄養を摂取するだけではありません。食が人と人を繋ぎ、昔懐かしいものがあると過去と現在を繋ぎ、未来を生きる希望にも繋がるでしょう。「ありがとう」と満面の笑顔を見せてくれたり、「子どもの頃好きだった」と懐かしい思い出を語ってくれたりと明るい雰囲気では話が弾みます。また、看護・介護の職員の方のやさしい声かけと気配りで、笑い声に包まれています。

売店は、その役割を自覚し、“食べる”を通じて生き生きと生活できることへのお手伝いを続け共に喜べる取り組みになるよう努めます。

大掃除を終えて

第2-2センター 介護長 西尾千代子

当園では、大掃除を平成29年9月末から約1ヶ月かけて行いました。

まず、9月に入ると各居室を廻り、大掃除の内容を確認します。大掃除の内容は、畳干し、家具移動、カーペット干し、流しの下、押し入れ、換気扇、扇風機、ガラス拭き、バルサンたきです。大掃除の内容以外にも入所者様のご要望を個別に聞きとり対応していきました。大掃除の聞き取りした内容は各部屋1枚にまとめた用紙を作成して、どのスタッフが見ても大掃除が出来るように工夫しています。大掃除の日程に



については、大掃除を行う予定を掃除の内容などにあわせて、部屋の数、外出予定、委託診療などを考慮し、大掃除の日程を調整しました。掃除にかかる1週間前、前日に定時放送で大掃除についての案内をします。

平成29年10月2日(月)より大掃除の開始です。当日は部屋の入口のドアに大掃除の内容を記した用紙を貼り、午前9時頃より始めました。畳干し、絨毯干しなど

を行い、換気扇、蛍光灯、棚の上など、普段手の届かない所を掃除していきます。

入所者の方からは、きれいにしてもらって、ありがとうの言葉を頂き励みになります。また、冬に備えホットカーペットを出す入所者の方、扇風機を片付ける等の対応をしていきます。

大掃除が終わりスタッフ間で次回の大掃除に活かせるように振り返りを行いました。入所者様個々に合わせた調整を行い、入所者様が気持ちよく過ごしてもらえよう行いたいと思います。



大島もちつき会

瀬戸内国際芸術祭ボランティアサポーター こえび隊 笹川 尚子

寒さが身にしむ 12 月の初め。大島でもちつき会を開催しました。瀬戸内国際芸術祭 2010 が終わった年の 12 月から毎年カフェ・シヨル（芸術祭をきっかけに誕生した島内にあるカフェ）前で開催し、今年 8 回目を迎えました。この 1 年お世話になった大島の入所者のみなさんへ感謝の気持ちを込めて行なっています。

今年のもちつき会はかたちを変えて、大島青松園の職員さんの協力をいただき、大島会館で盛大に開催しました。会場の入り口で餅つきを、ホールの中でみなさんにつきたてのお餅を振る舞いました。白餅と大島で収穫したよもぎを入れた餅の 2 種類をつくり、食べたみなさんの顔も自然とほころんでいました。

「よいしょ」と掛け声を一緒にしてくれる方、手を叩いて昔を懐かしんでいる方、後遺症のある手で餅を丸めている方もいました。また、自治会副会長の野村さんは杵を持って実際についてくれました。昔のもちつき話を聞くと、夜明け前の 3 時から餅の準備を行い、臼を 5 台並べて 1 トンもの餅をついていたそうです。きっとその頃を懐かしく思いながら見ていたのでしょう。

来年もまた入所者のみなさん、職員さん、アーティスト、こえび隊とみんなが一体となったもちつき会を開催できることを願っています。



楽しい！美味しい！大島クリスマス会

副総看護師長 土居 明美

今年も大島のクリスマス会が平成 29 年 12 月 21 日に盛大に行われました。この会は、地域社会との交流の機会が少なくなっている入所者の皆さんが、地域住民の方との交流を深めることを目的として開催しています。庵治第二小学校、香川大学教育学部の学生、瀬戸内国際芸術祭ボランティアサポーター こえび隊、職員の家族が歌や楽器演奏、劇など工夫を凝らして参加して下さいました。

また、大島青松園職員もクリスマス会を盛り上げようと、会場準備、会場内の装飾や大島会館前のモミの木にも飾り付けをしたり、美味しい食事を作るなど協力しあった運営をしています。もちろん、歌や踊りなども披露し、会場は話し声と笑い声でとても賑やかです。このように入所者の皆さんが、イベントを開催する度に元気に参加され笑顔で過ごされることは、職員にとっても喜びになっていると感じています。



今年の看護課を振り返ると、様々な取り組みを始めました。入所者の方が日々の生活が生きがいを持って安心して安全・安楽な生活が送れるための体制作りとして、「認知症ケアチーム」「高齢者看護チーム」「生活環境改善チーム」を立ち上げました。平成 27 年からコミュニティサポートとしてレクリエーションの企画・運営をしている「生き生き支援チーム」と共に、「認知症ケアチーム」は、職員が認知症の初期症状等の早期発見・対応ができるように、認知症ケアに関わる知識の向上、ケアに関する検討会を開催しています。「高齢者看護チーム」は、高齢になられている入所者の皆さんの看護・介護、居室での看取り等のケアの質を高めるために、看取りの手引書を作成し、また病棟やセンターでの高齢者看護（看取りケア）を実践できるように学習をしています。更に、「生活環境改善チーム」は、入所者の皆さんの生活環境を整備し、安心・安全に生活できるようにサポートしています。それぞれのチームの職員は、責任と達成感を持って活動ができています。

これらの活動を平成 30 年には更に充実し、入所者の皆様一人ひとりが安心・安全に生活できるように看護・介護の質の向上と共に、喜びに満ちた日々を送れるよう支援できればと考えています。



大島青松園来園方法

見学をご希望される方は、下記へご連絡、又はホームページをご覧ください。

連絡先：国立療養所大島青松園福祉室 電話（087）871-3231（内線 6464）

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/hansen/osima



大島青松園への来園には、
官用船が利用できます。

船舶運航時刻

	大島港発	高松港着		高松港発	大島港着
1 便	8:40	9:00	1 便	9:10	9:30
2 便	10:30	10:50	2 便	11:15	11:35
3 便	13:25	13:45	3 便	14:00	14:20
4 便	15:00	15:20	4 便	15:30	15:50
5 便	16:30	16:50	5 便	17:00	17:20

－編集後記－

各センターの玄関に飾る門松は、当園の看護課の生活環境改善チームが大島にある材料を活用して作ったものです。寒い中大変な作業ですが、入所者の皆様がお正月らしく迎えられるように、各部署に作成・設置しました。入所者の皆様、職員と共に笑顔の新年となりました。



【発行元】国立療養所大島青松園 住所：〒761-0198 高松市庵治町 6034-1 ☎（087）871-3131

【発行責任者】岡野美子（園長） 【企画・編集】広報委員会